

平成16年 労使関係総合調査
労使コミュニケーション調査票A(事業所用)

[調査対象事業所所在地及び事業所名称宛名シール貼付欄]

| | | | | |
|--------|---------|--------|------|--|
| 郵便番号 | | | | |
| 事業所所在地 | | | | |
| 事業所名 | | | | |
| 都道府県番号 | 事業所一連番号 | 産業分類番号 | 個人調査 | |
| 1 | 2 | | | |

この調査票に記入された事項については、統計以外の目的に使ったり、他にもらすことはありませんので、ありのままに記入してください。

[記入上の注意]

- この調査票は貴事業所の運営にあたって責任のある立場の方が記入してください。
- 調査票の記入にあたっては、別紙の記入要領を参照してください。
- この調査票は、特に断りのない限り、平成16年6月30日現在の状況について記入してください。
- 回答方法:
 - 青又は黒インクのペン、ボールペンで記入してください。
 - 特に断りのない限り、該当する番号を1つだけ○で囲んでください。
なお、複数回答の可能性のあるものは、回答欄が

| | |
|---|---|
| 1 | 2 |
|---|---|

 のように網掛けになっています。
 - | | |
|--|--|
| | |
|--|--|

 のように空欄のところは、数字を記入してください。
- 記入が終わりましたら7月20日(火)までに所轄の労政主管事務所に提出してください。

| | | |
|-------|---------------------|--------------------------|
| 記入担当者 | 所属部課名 | 部 _____ 課 _____ |
| | 電話 | () (内線) |
| | 氏名 | |
| | 主な生産品 又は 事業内容 | |

I 事業所の属性に関する事項

1 事業所の常用労働者

(1) 事業所の常用労働者数

| | | | | |
|--------|--|---|--|---|
| 常用労働者数 | | 千 | | 人 |
| | | | | |

3

(2) 事業所の常用労働者のうちパートタイム労働者の有無

| | |
|----|----|
| あり | なし |
| 1 | 2 |

4

注) 「パートタイム労働者」とは、1日の所定労働時間又は1週間の所定労働日数が、貴事業所における一般労働者より短い労働者をいいます。

2 企業全体の常用労働者数

| | | | | | |
|----------|--------------|----------|----------|--------|--------|
| 5,000人以上 | 1,000～4,999人 | 300～999人 | 100～299人 | 50～99人 | 30～49人 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

3 労働組合の有無

| | |
|----|----|
| あり | なし |
| 1 | 2 |

6

II 労使コミュニケーション全般に関する事項

問1 貴事業所において労使コミュニケーション(労使間の意思疎通。以下同じ)の重要度についてどのように考えていますか。

| | | |
|-------|-----------|--------|
| 重要である | どちらともいえない | 重要ではない |
| 1 | 2 | 3 |

7

問2 貴事業所においては、労使間の意思疎通の現状をどのように評価していますか。

| | | | | |
|-------|------|-----------|------|-------|
| 非常に良い | やや良い | どちらともいえない | やや悪い | 非常に悪い |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

8

問3 貴事業所においては、従業員との円滑なコミュニケーションを実現する上で、どういう面での意思疎通を重視しますか。

(該当するすべての番号を○で囲んでください。)

| | | | | | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|-----------------------|--------------|------|-------------------|-----|
| 経営情報・計画、組織変更、新商品・サービス開発 | 日常業務改善 | 作業環境改善 | 職場の人間関係 | 人事(人員配置・出向、昇進・昇格、定年制) | 賃金、労働時間等労働条件 | 教育訓練 | 福利厚生、文化・体育・レジャー活動 | その他 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

9

問4 貴事業所においては、経営状況や経営計画・方針等を従業員に周知するため、どのような方法(電子化したものも含む)を用いていますか。

(1~5については該当するすべての番号を○で囲んでください。)

| 周知方法 | | | | | 特に周知していない |
|----------------------|-------------|--------------|----------------------------|------------|-----------|
| 従業員全員の集まる場(朝礼等)で説明する | 一定の役職者に説明する | 社内報や掲示板等で伝える | 労使協議機関、従業員組合等の既存の常設機関で説明する | その他の方法で伝える | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

10

問5 貴事業所において、過去5年間(平成11年7月1日から平成16年6月30日までの期間)で、労働条件の個別的決定(従業員個人が使用者側と、直接、目標管理等について話合って、賃金などの労働条件を決めていくやりかた)の対象となる労働者の割合が増加しましたか。

(5年前と比較が困難な場合は、比較可能な範囲で答えてください。)

| | | | |
|------|---------|------|-----------|
| 増加した | ほぼ変わらない | 減少した | どちらともいえない |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

11

III 労使協議機関に関する事項

問6 貴事業所又は貴企業に労使協議機関(経営、生産、労働条件、福利厚生等の事項を労使で協議するための常設的機関)がありますか。

| | |
|----|----|
| あり | なし |
| 1 | 2 |

12

問7へ進んでください。

IVの問8へ進んでください。

問7 労使協議機関について答えてください。

(貴事業所が本社の場合は、企業単位の労使協議機関について答えてください。本社以外でも事業所単位の労使協議機関が無い場合には、企業単位の労使協議機関について答えてください。)

(1) 労使協議機関の設置の根拠は何ですか。

| | | | |
|------|------|-------|----|
| 労働協約 | 就業規則 | その他文書 | 慣行 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

13

(2) 下部組織として次の専門委員会はありますか。

(専門委員会がある場合は1~8について該当する全ての番号を、ない場合は「9 専門委員会なし」を○で囲んでください。)

| 専門委員会の種類 | | | | | | | | 専門委員会なし |
|----------|------------|-------|---------|----------------------|---------|---------|-----|---------|
| 生産性委員会 | 休日・労働時間委員会 | 給与委員会 | 安全衛生委員会 | 福利・厚生委員会(住宅施策委員会を除く) | 住宅施策委員会 | 男女平等委員会 | その他 | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

14

(3) 労使協議機関(専門委員会を除く)の開催形態は次のどれですか。

| | | | |
|------|---------|-------------|----|
| 定期開催 | 必要のつど開催 | 定期及び必要のつど開催 | 15 |
| 1 | 2 | 3 | |

(4) 労使協議機関の従業員代表はどのような方法で選出されますか。

(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

| | | | |
|----------|--------------------------|-----------|----|
| 労働組合の代表者 | 従業員で互選された者 (労働組合員も含む) | 使用者が指名した者 | 16 |
| 1 | 2 | 3 | |

(5) 従業員代表にパートタイム労働者が入っていますか。

(パートタイム労働者がいない場合は「2 入っていない」を○で囲んでください。)

| | | |
|-------|--------|----|
| 入っている | 入っていない | 17 |
| 1 | 2 | |

(6) 以下の事項のうち労使協議機関に付議する事項はどれですか。また、その取り扱いはどのようになっていますか。

(事項ごとに答えてください。)

| 事項 | 付議事項である (取り扱いが複数ある場合は、協議の程度の大きい方の番号を○で囲んでください。) | | | | 付議事項でない | |
|-----------------------|--|------|----|----|---------|----|
| | 説明報告 | 意見聴取 | 協議 | 同意 | | |
| ア 経営の基本方針 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 18 |
| イ 生産、販売等の基本計画 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 19 |
| ウ 会社組織機構の新設改廃 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 20 |
| エ 新技術応用機器の導入等生産事務の合理化 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 21 |
| オ 採用・配置基準 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 22 |
| カ 昇進、昇格基準 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 23 |
| キ 配置転換、出向 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 24 |
| ク 教育訓練計画 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 25 |
| ケ 一時帰休・人員整理・解雇 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 26 |
| コ 定年制 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 27 |
| サ 勤務態様の変更 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 28 |
| シ 労働時間・休日・休暇 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 29 |
| ス 育児休業制度・介護休業制度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 30 |
| セ 賃金・一時金 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 31 |
| ソ 時間外労働の賃金割増し率 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 32 |
| タ 退職手当・年金基準 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 33 |
| チ 職場の安全衛生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 34 |
| ツ 福利厚生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 35 |
| テ 文化・体育・レジャー活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 36 |

(7) 過去1年間(平成15年7月1日から平成16年6月30日までの期間)における労使協議機関の成果について答えてください。

ア 過去1年間において成果はありましたか。

| | |
|---------------|---|
| 成果があった | 1 |
| 成果がなかった | 2 |
| どちらとも いえない | 3 |

イ どのような点で成果がありましたか。
(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

| | | | | | |
|---------------------------|------------------------|------------------|-------------------------------|----------------------------|-----|
| 労働組合との 意思の疎通が 良くなった | 企業活動の 運営が 円滑になった | 労働環境の 整備に役立った | 従業員が会社の 運営に関心を もつようになった | 従業員の仕事に 対する満足度が 高まった | その他 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

IV 職場懇談会に関する事項

問8 貴事業所に職場懇談会(管理者と従業員が職場を単位として一定の業務運営、職場環境等について話合うための会合)がありますか。

| | | |
|----|----|----|
| あり | なし | 39 |
| 1 | 2 | |

問9へ進んでください。

Vの問10へ進んでください。

問9 貴事業所の職場懇談会について教えてください。

(1) 職場懇談会にパートタイム労働者は参加していますか。

(パートタイム労働者がいない場合は「2 参加していない」を○で囲んでください。)

| | | |
|--------|---------|----|
| 参加している | 参加していない | 40 |
| 1 | 2 | |

(2) 過去1年間(平成15年7月1日から平成16年6月30日までの期間)に、どのような事項について話合いましたか。

(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

| | | | | | | |
|----------------------|---------------|------------|------------|------------|-----|----|
| 経営方針、生産、販売等の計画に関すること | 日常業務の運営に関すること | 安全衛生に関すること | 福利厚生に関すること | 教育訓練に関すること | その他 | 41 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |

(3) 過去1年間(平成15年7月1日から平成16年6月30日までの期間)における職場懇談会の成果について教えてください。

ア 過去1年間において成果はありましたか。

| | | |
|-----------|---|---|
| 成果があった | 1 | イ どのような点で成果がありましたか。 (該当する全ての番号を○で囲んでください。) |
| 成果がなかった | 2 | |
| どちらともいえない | 3 | |

42

| | | | | | | |
|-------------|----------------|------------|----------|--------------|-----|----|
| 業務運営が円滑になった | 職場の人間関係が円滑になった | 職場環境が改善された | 生産性が向上した | 従業員の定着が良くなった | その他 | 43 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |

V 苦情処理に関する事項

問10 苦情(従業員個人の賃金、配置転換、日常の作業条件等についての苦情)処理全般についてお答えください。

(1) 苦情処理のための制度は必要だと思いますか。

| | | |
|-------|--------|----|
| 必要である | 必要ではない | 44 |
| 1 | 2 | |

(2) 苦情処理はどのような場、方法で行われるべきだと思いますか。

(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

| | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|--------|------|------------|----------------|----------|-----|----|
| 労使協議機関 | 職場懇談会 | 自己申告制度 | 苦情処理機関 | 団体交渉 | 人事担当者との話合い | 労働者の代表等が関与し話合う | 上司が相談にのる | その他 | 45 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |

問11 苦情処理機関(上記苦情を解決するための労使代表で構成される常設機関)がありますか。

(企業単位で設置している場合も含めて教えてください。)

| | | |
|----|----|----|
| あり | なし | 46 |
| 1 | 2 | |

問12へ進んでください。

VIの問13へ進んでください。

問12 苦情処理機関について教えてください。

(1) パートタイム労働者には苦情処理機関の利用資格がありますか。

| | | |
|----|----|----|
| あり | なし | 47 |
| 1 | 2 | |

(2) 過去1年間(平成15年7月1日から平成16年6月30日までの期間)に申し立てられた苦情についてお答え下さい。

ア 過去1年間に申し立てられた苦情はありましたか。

| | |
|----|---|
| あり | 1 |
| なし | 2 |

48

イ どのような苦情が申し立てられましたか。
(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

| | |
|----------------------------|---|
| 日常業務の運営に関する事 | 1 |
| 人事(人員配置・出向・昇進・昇格、定年制)に関する事 | 2 |
| 教育訓練等に関する事 | 3 |
| 賃金、労働時間等労働条件に関する事 | 4 |
| 安全衛生に関する事 | 5 |
| 福利厚生に関する事 | 6 |
| 人間関係に関する事 | 7 |
| 男女差別、セクハラに関する事 | 8 |
| その他 | 9 |

49

ウ 苦情の解決の状況はどうか。

| | | | |
|-------------------|----------------|-------------|-----|
| 実際に救済・解決に至ったものが多い | 話を聞いて納得したものが多い | 解決されない苦情が多い | その他 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

50

(3) 苦情処理機関に最も期待する役割は、次のどれだと思いますか。

| | | | | |
|---------------|----------------|---------------------|-----------------------|-----|
| 労使間の意思の疎通に役立つ | 労働者の職場への信頼度が増す | 健全な労使関係により生産性を向上させる | 人事等の評価、査定の公平性、納得度を高める | その他 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

51

VI その他の労使コミュニケーション手段に関する事項

問13 貴事業所に次のような制度等がありますか。

| 制度等の種類 | あり | なし |
|---------------------|----|----|
| (1) 従業員組織(社員会) | 1 | 2 |
| (2) 自己申告制度 | 1 | 2 |
| (3) 小集団活動 | 1 | 2 |
| (4) 提案制度(投書箱・目安箱) | 1 | 2 |
| (5) 従業員意識調査 | 1 | 2 |
| (6) 人事担当者による巡回、個人面談 | 1 | 2 |
| (7) 社内報 | 1 | 2 |

問14 貴事業所において、円滑なコミュニケーションを実現するため、今後重視する手段は次のどれですか。

(該当する全ての番号を○で囲んでください。)

| | | | | | | | | | | |
|--------|-------|------------|--------|--------|-------|---------------|---------|-----------------|-----|-----|
| 労使協議機関 | 職場懇談会 | 従業員組織(社員会) | 自己申告制度 | 苦情処理機関 | 小集団活動 | 提案制度(投書箱・目安箱) | 従業員意識調査 | 人事担当者による巡回、個人面談 | 社内報 | その他 |
| 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 |

59

以上で質問は全て終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。